QH-00-09-625
２０２４年７月

YGアンカー
施工マニュアル

販売店・工事店様用

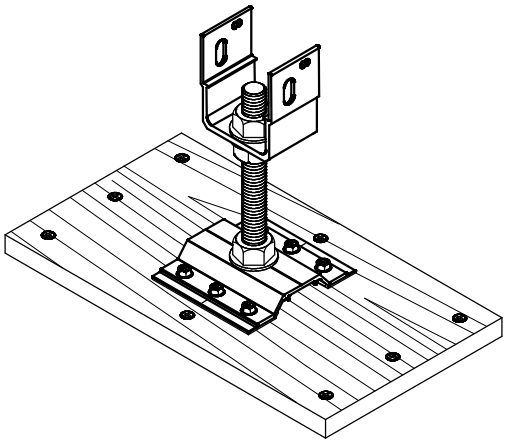
もくじ

１．架台・・・・・・・・・・・・・・・・・・p1
２．YGアンカー・・・・・・・・・・・・・・・p3

◆ 仕　様 ◆

太陽電池モジュール	横置
固定台 L-300	

縦桟対応



設置工事をされる方へお願い

■据付工事を始める前に施工マニュアルをよく読み、正しく安全に据付けてください。
■据付け強度を確保するため、施工マニュアルの据付方法を守ってください。
■据付工事は販売店・工事店さまが実施してください。（第２種電気工事士の資格必要）
　●据付工事は高所（２ｍ以上）作業で転落の恐れがあります。また、感電の恐れもあるため、「労働安全衛生規則」に従って施工してください。
　●コーキング材を使用する場合、保護眼鏡、保護衣、保護手袋など適切な保護具を着用してください。
■取付け部材は、必ず付属品を使用してください。
■本施工マニュアルは支持部材のみの施工マニュアルとなります。
■建築強度については考慮されていないため、販売店様、施工店様にてご確認ください。

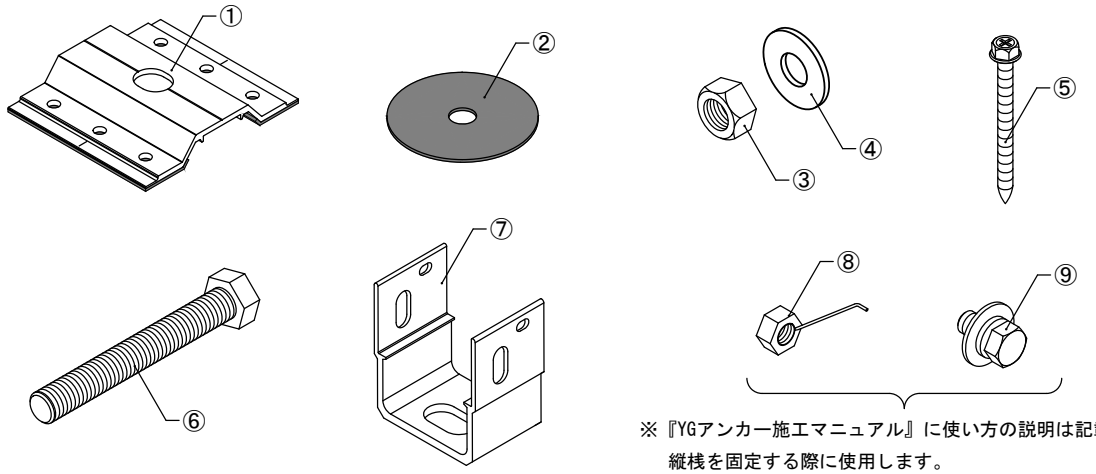
株式会社 屋根技術研究所

１．架台

１）支持部材

①YGアンカーL-120セット

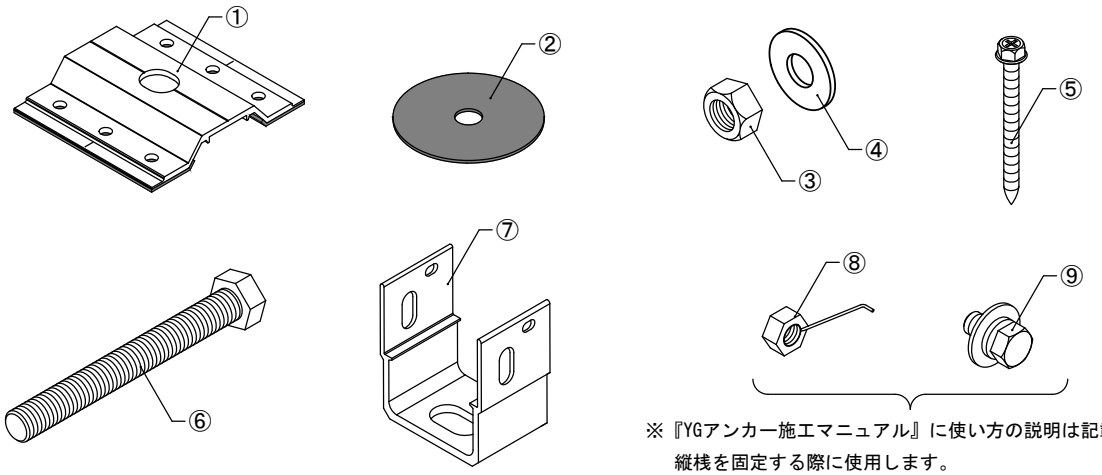
	品名	数量
①	M16アンカーベースプレート	1
②	キャップφ70	2
③	M16ナット	3
④	M16ワッシャー	3
⑤	木ネジ 5.0×60	6
⑥	M16×120ボルト	1
⑦	縦桟固定金具	1
⑧	M8リボンナット	2
⑨	M8-18セムスボルト	2



※『YGアンカー施工マニュアル』に使い方の説明は記載していません。
縦桟を固定する際に使用します。

②YGアンカーL-140セット

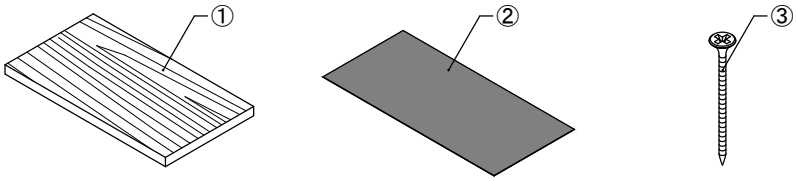
	品名	数量
①	M16アンカーベースプレート	1
②	キャップφ70	2
③	M16ナット	3
④	M16ワッシャー	3
⑤	木ネジ 5.0×60	6
⑥	M16×140ボルト	1
⑦	縦桟固定金具	1
⑧	M8リボンナット	2
⑨	M8-18セムスボルト	2



※『YGアンカー施工マニュアル』に使い方の説明は記載していません。
縦桟を固定する際に使用します。

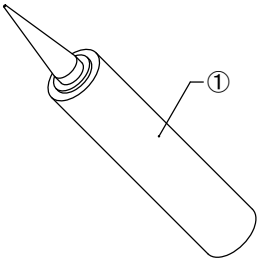
③YGアンカー用多雪施工対応追加セット

	品名	数量
①	固定台 L-300	1
②	固定台ブチルシート(320×150×t0.5)	1
③	木ネジ 3.8×51	8



④コーキング

	品名	数量
①	コーキング	1



※金具15個／本

２．YGアンカー

１）YGアンカーの組み立て

下記作業は、地上で行ってください。

①M16アンカーベースプレートに取り付けるM16ボルトの長さを確認してください。

※取り付けるM16ボルトの長さは瓦の種類によって異なります。

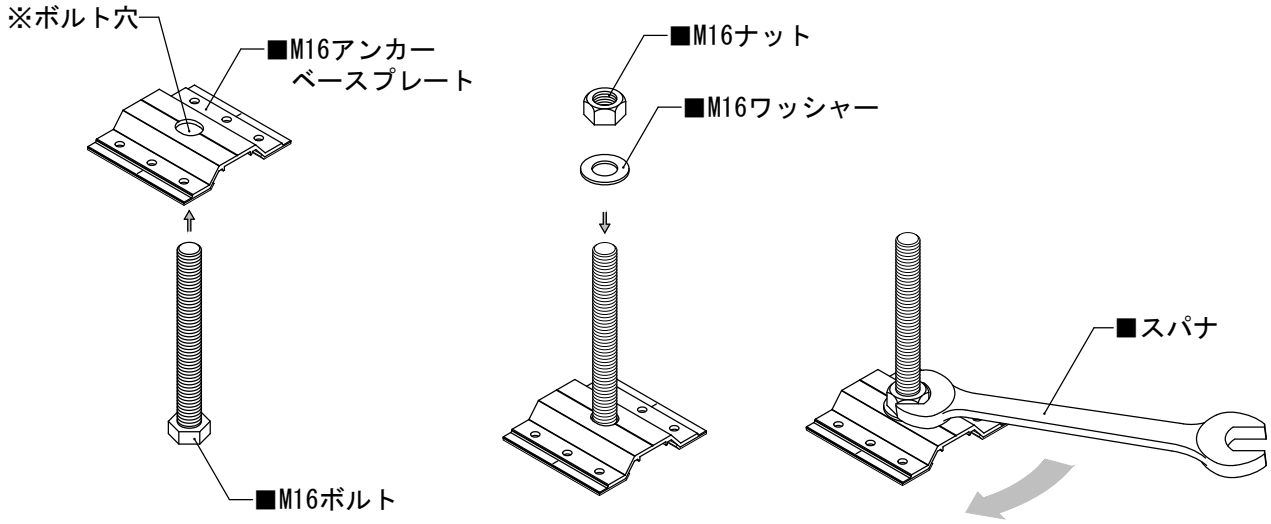
M16ボルトの長さ※1	瓦の種類
140mm	和瓦、S瓦
120mm	平板瓦、二山瓦※2

※1 瓦桟木15～18mm、流れ桟4mm程度の場合とする。
※2 二山瓦の場合は山部と谷部の高低差を測定し45mm以上はボルト長さ140mmを使用してください。

❗注　意

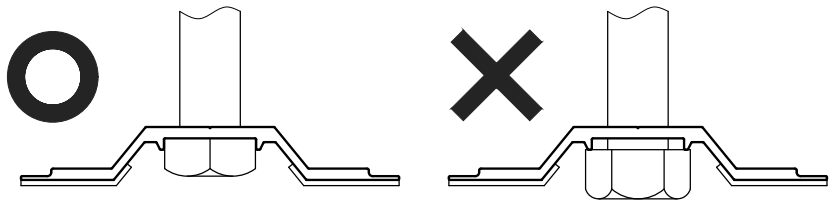
M16ボルトの長さは瓦の種類に合ったものを使用してください。
長さを間違えると施工できない場合があります。

②M16アンカーベースプレートの裏面からボルト穴にM16ボルトを差し込み、M16ワッシャー、M16ナットを入れ、スパナで仮固定します。



❗注　意

M16ボルトがM16アンカーベースプレートの溝に入っていることを確認してください。施工時に隙間ができてしまい正しく施工ができません。



２）瓦の撤去　※既設屋根の場合は、瓦の撤去が必要です。

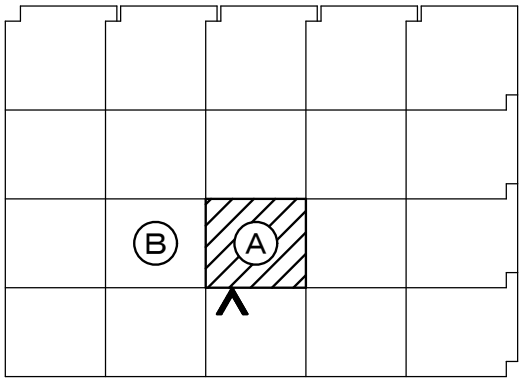
①「和瓦」の場合

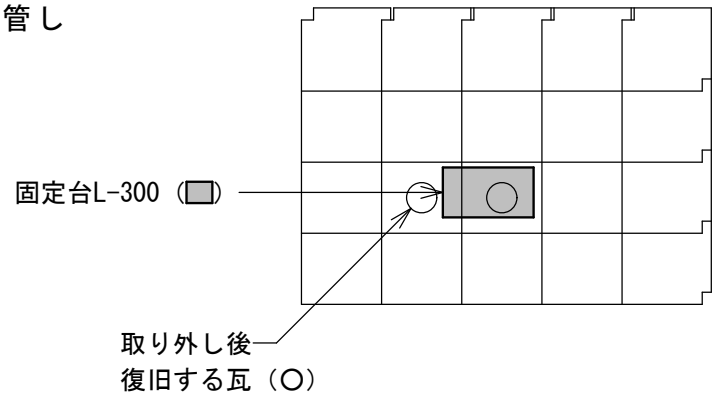
支持部取付け位置にある既存の瓦の撤去は、下記の手順の通りです。

（ｉ）支持部取付け位置の下段の瓦に∧マークをチョーク等で付けます。

（ⅱ）瓦を Ⓐ 、Ⓑ の順に2枚外します。

外した瓦は、屋根上からの落下に注意して安全な場所に保管してください。





②「平板瓦」の場合

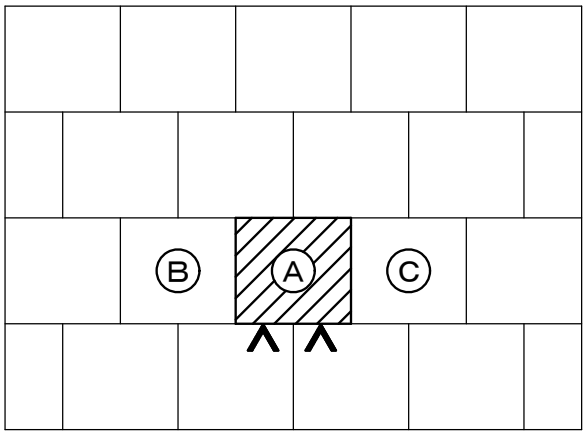
支持部取付け位置にある既存の瓦の撤去は、下記の手順の通りです。

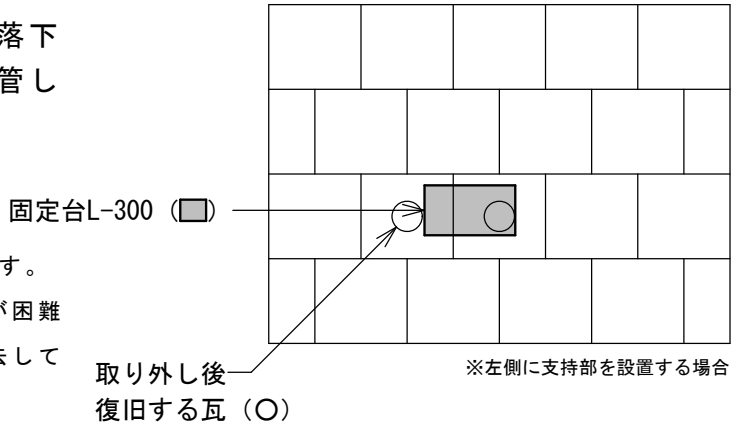
（ｉ）支持部取付け位置の下段の瓦に∧マークをチョーク等で付けます。

（ⅱ）左側に支持部を設置する場合は Ⓑ 、Ⓐ の順に瓦を2枚外します。

右側に支持部を設置する場合は Ⓐ 、Ⓒ の順に瓦を2枚外します。

外した瓦は、屋根上からの落下に注意して安全な場所に保管してください。





※左側に支持部を設置する場合

※瓦の外し方は瓦の種類によって異なります。

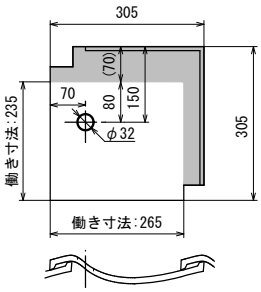
※瓦の撤去は2枚としておりますが、施工が困難と判断される場合は、必要枚数 瓦を撤去してください。

３）瓦の穴あけ

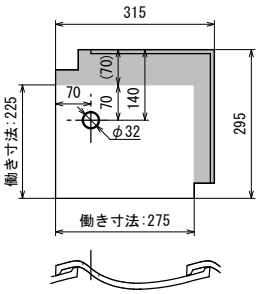
①【穴あけ位置詳細】に従って瓦の穴あけ位置にマーキングをします。

【穴あけ位置詳細】単位:mm

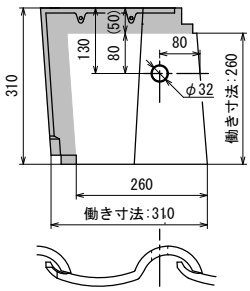
和瓦:53A



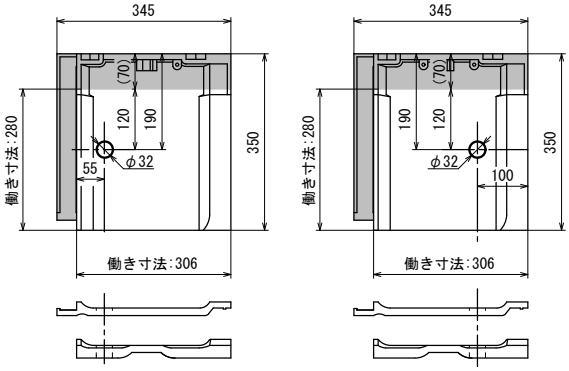
和瓦:53B



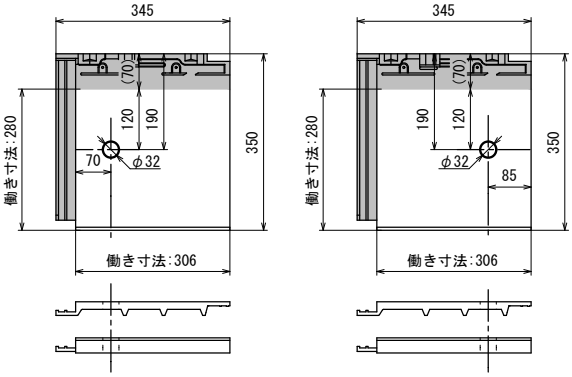
S瓦:49A



平板瓦:Uタイプ

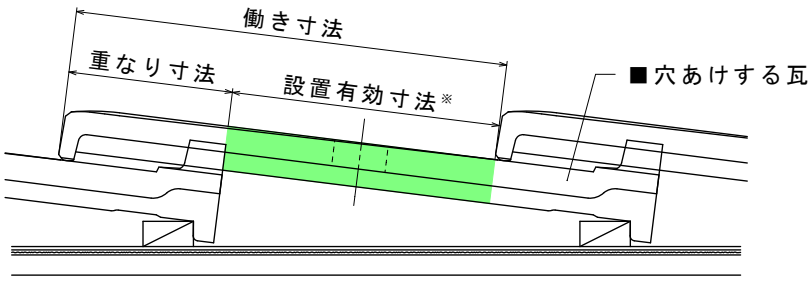


平板瓦:Fタイプ



❗注　意

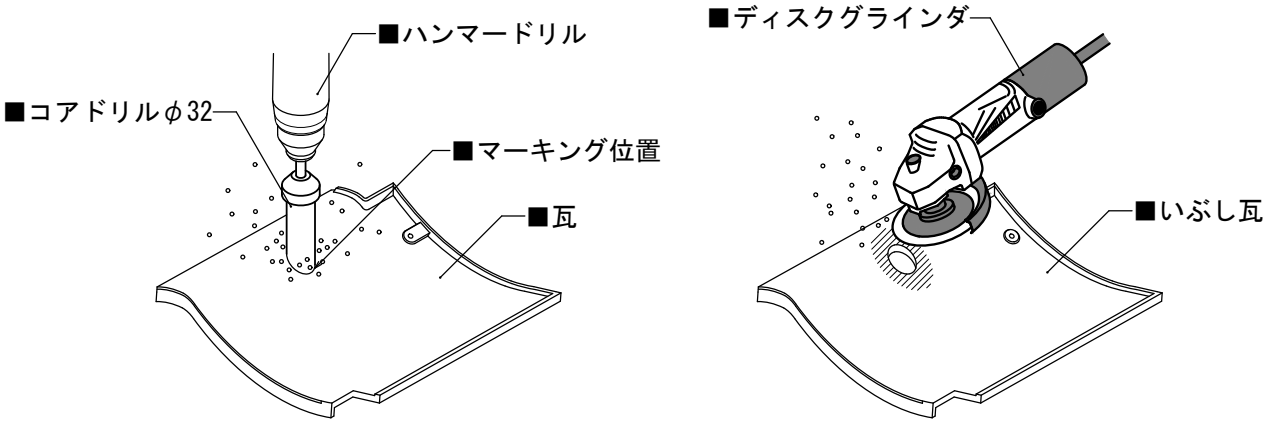
・瓦の重なり部への取り付けはできません。
・現場で穴あけ位置を必ず確認してください。
・上記に属さない瓦は下記の穴あけ位置にマーキングをしてください。
　軒棟方向は設置有効寸法※の中央にマーキングを行ってください。
　左右方向の穴あけ位置は上記を参考にしてください。
※設置有効寸法は170mm以上とします。



②マーキングした瓦にコアドリルφ32で穴をあけます。

※事前にコンクリートドリルで深さ2～3㎜削ると穴あけがスムーズに行えます。

また、いぶし瓦に限り、穴の中心から直径80㎜程度ディスクグラインダ等で瓦の表面を削ります。



お願い

施工前には必ず予備瓦を準備してください。

❗注　意

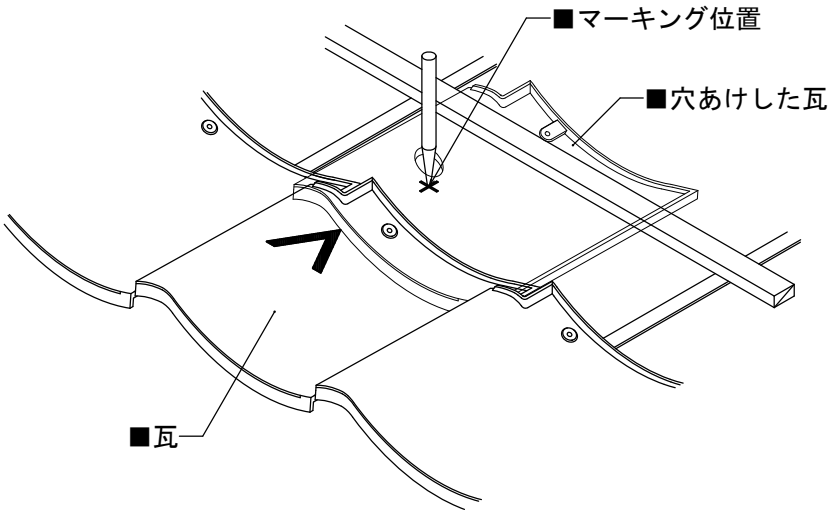
ハンマードリルの回転モードで穴あけしてください。
振動、打撃を加えると屋根材が破損します。
穴は野地板に直角になるようにあけてください。
瓦が割れた場合は必ず新品と交換してください。

③穴あけ後は瓦をきれいに洗浄してください。

４）防水処理1

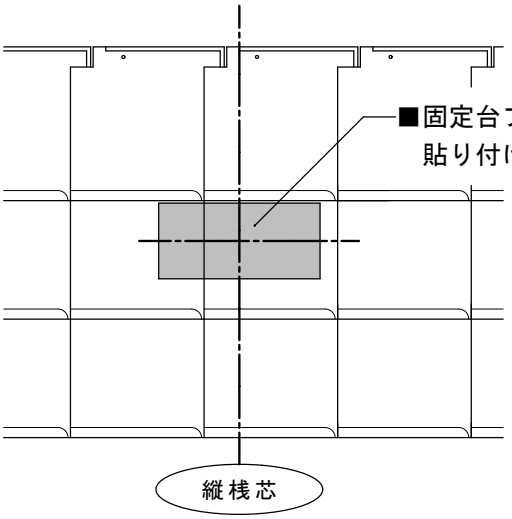
①ルーフィング上の汚れを取り除きます。

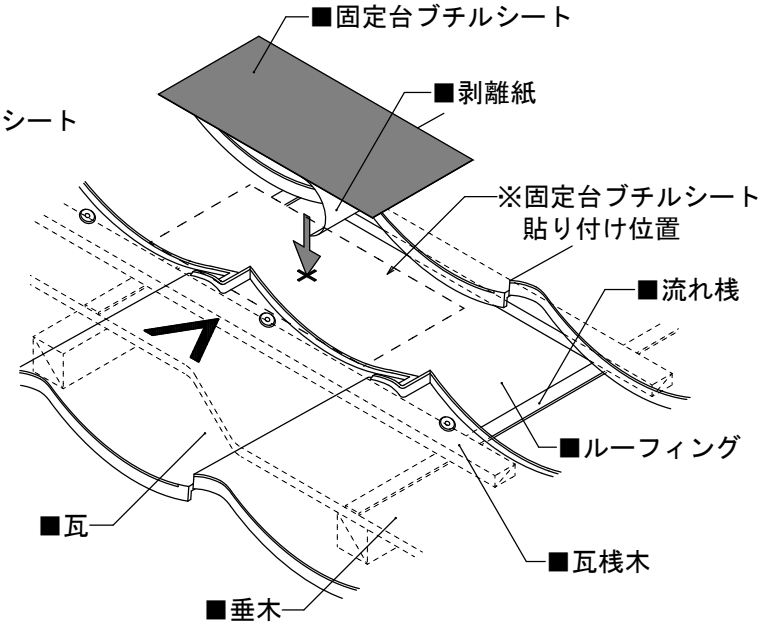
②穴あけした瓦を支持部取付位置に戻し、ルーフィング上にボルト中心位置をマーキングします。



③固定台ブチルシートの剥離紙を剥がし、マーキングが中心になるように貼り付けます。

流れ桟に接触する場合は、流れ桟をカットしてください。



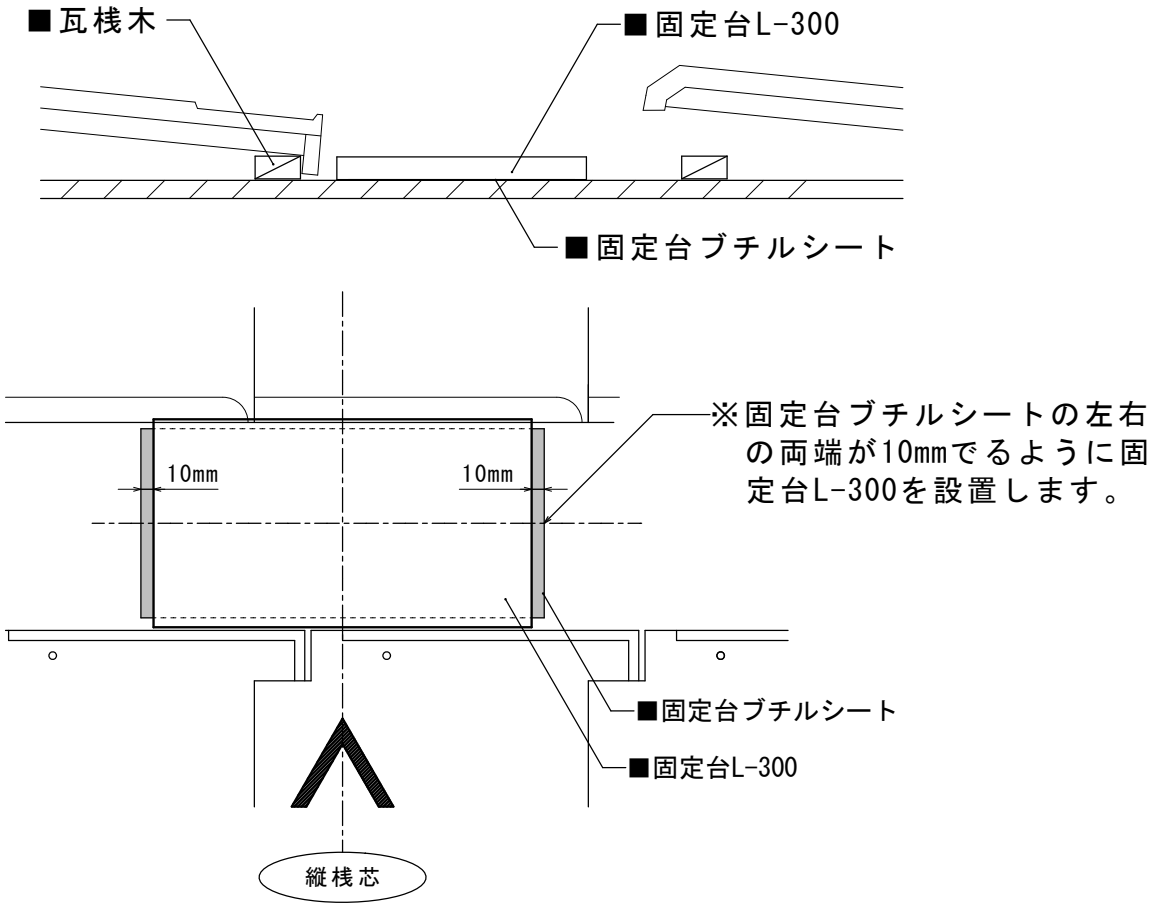


❗注　意

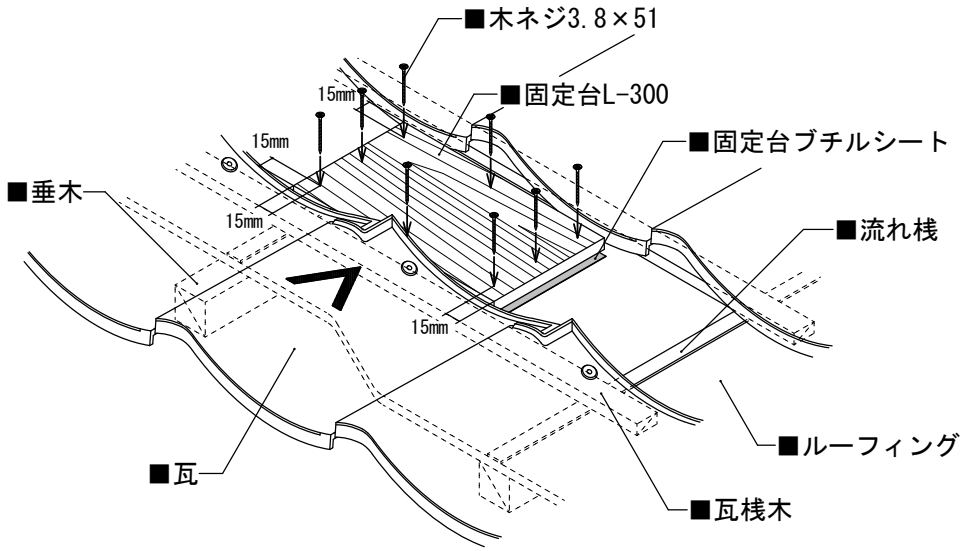
ルーフィング上の汚れは確実に取り除いてください。
密着性が損なわれ雨漏りの原因となります。

５）固定台L-300の取り付け

①固定台ブチルシートの中心になるように、固定台L-300を配置します。

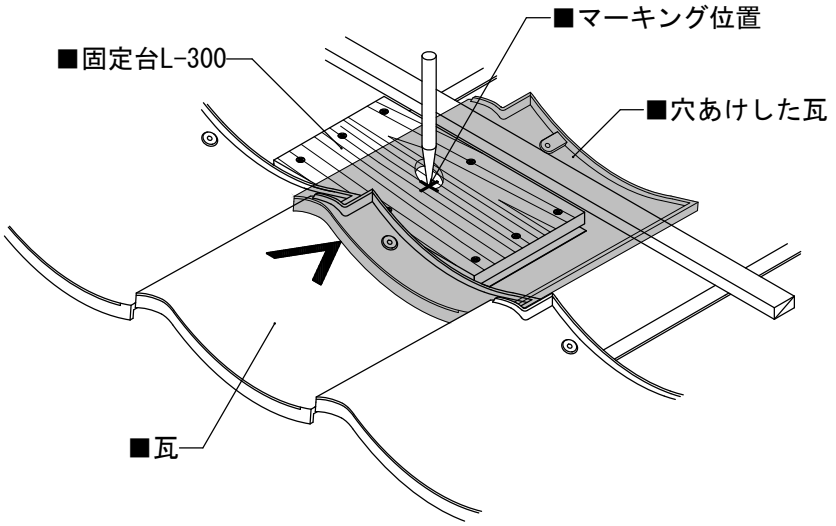


②固定台L-300を木ネジ8本で取り付けます。

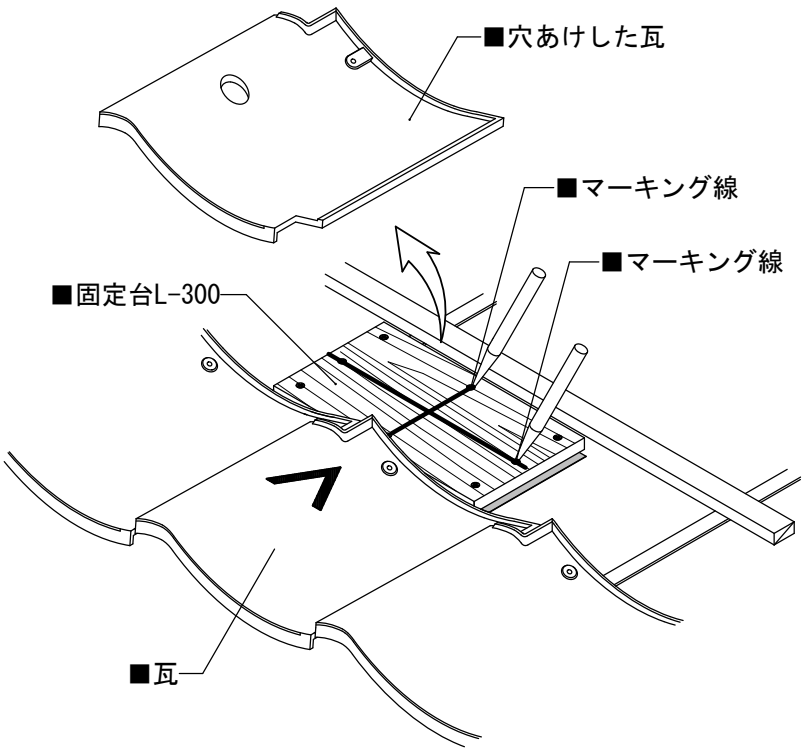


６）YGアンカーの設置

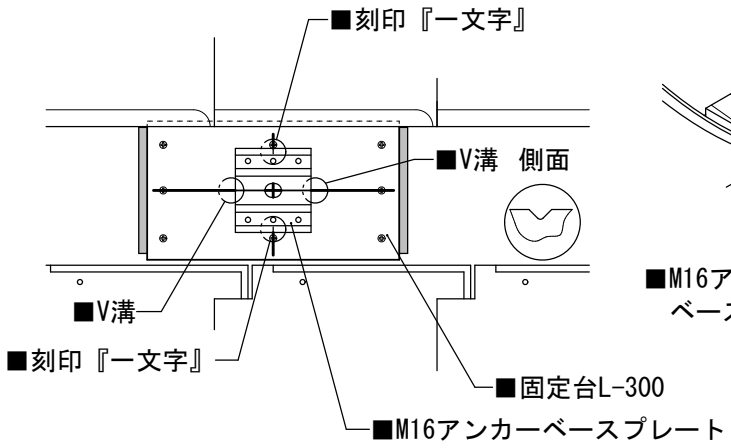
①再度穴あけした瓦を支持部取付位置に戻し、固定台L-300にボルト中心位置をマーキングします。

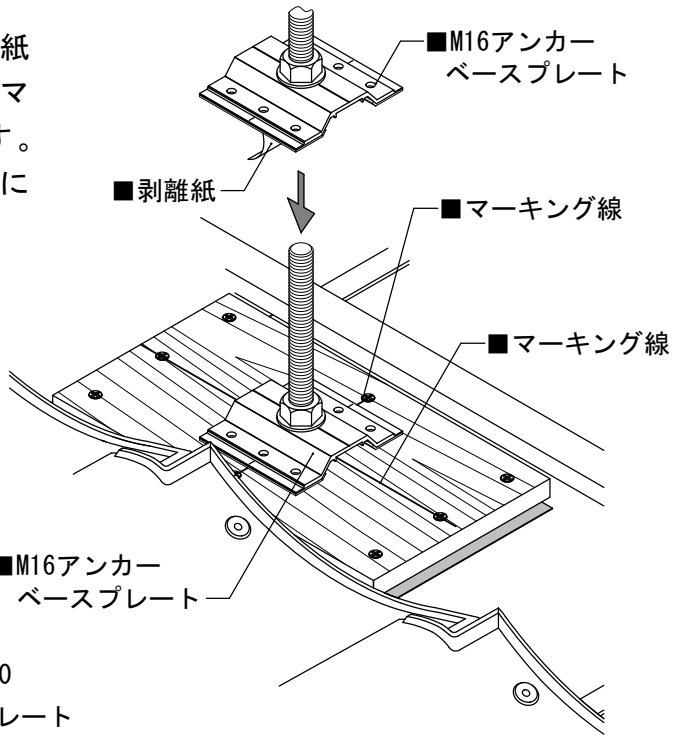


②穴あけした瓦を外し、マーキング位置を中心に、縦線と横線を引きます。

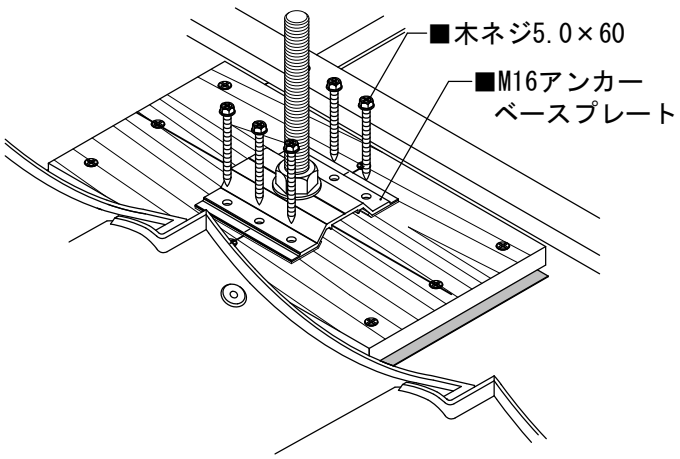


③M16アンカーベースプレートの剥離紙を剥がし、『V溝』と『一文字』がマーキング線に合うように配置します。
※『V溝』が左右、『一文字』が上下になるように配置してください。





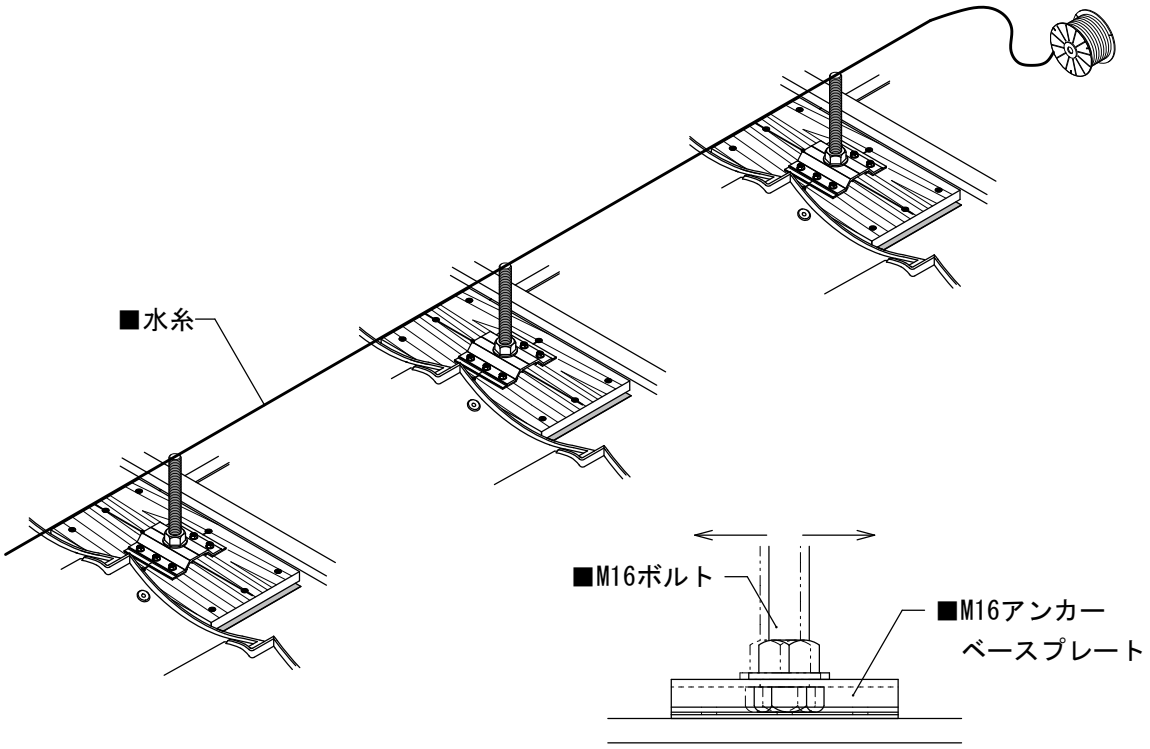
④M16アンカーベースプレートを木ネジ5.0×60で固定します。



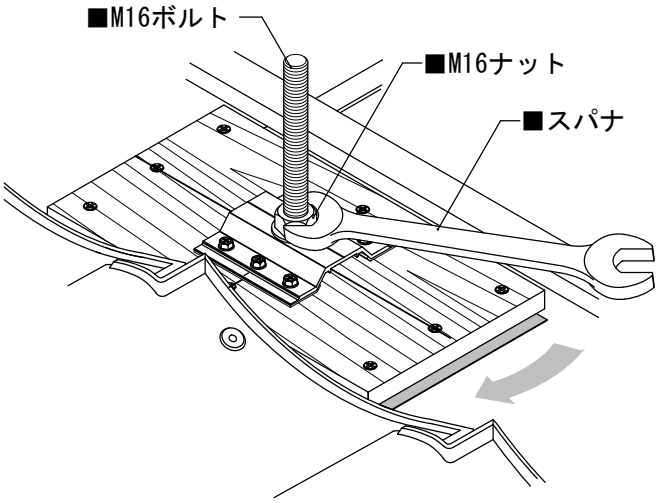
❗注　意

作業後、木ネジ頭がM16アンカーベースプレートに密着していること、M16アンカーベースプレートが固定台L-300に密着していることを確認してください。

⑤水糸でM16ボルトの通りを合わせます。



⑥M16ナットをスパナで本締めします。本締め後、M16ボルトが動かないことを確認してください。

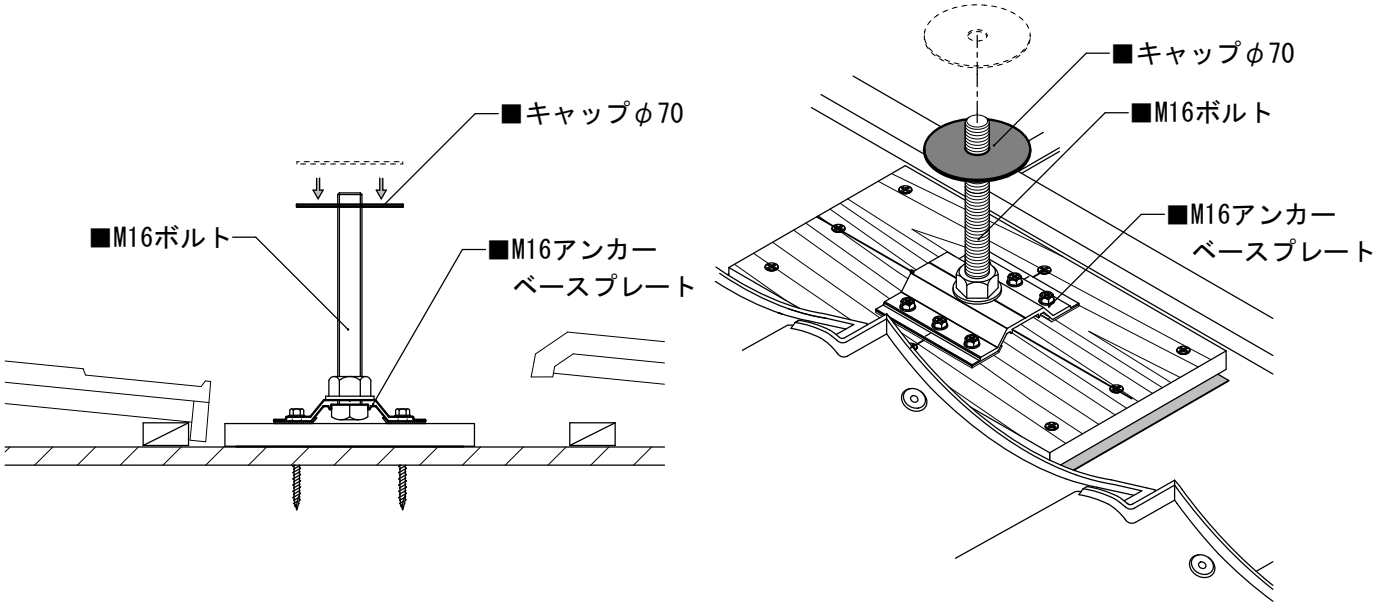


❗注　意

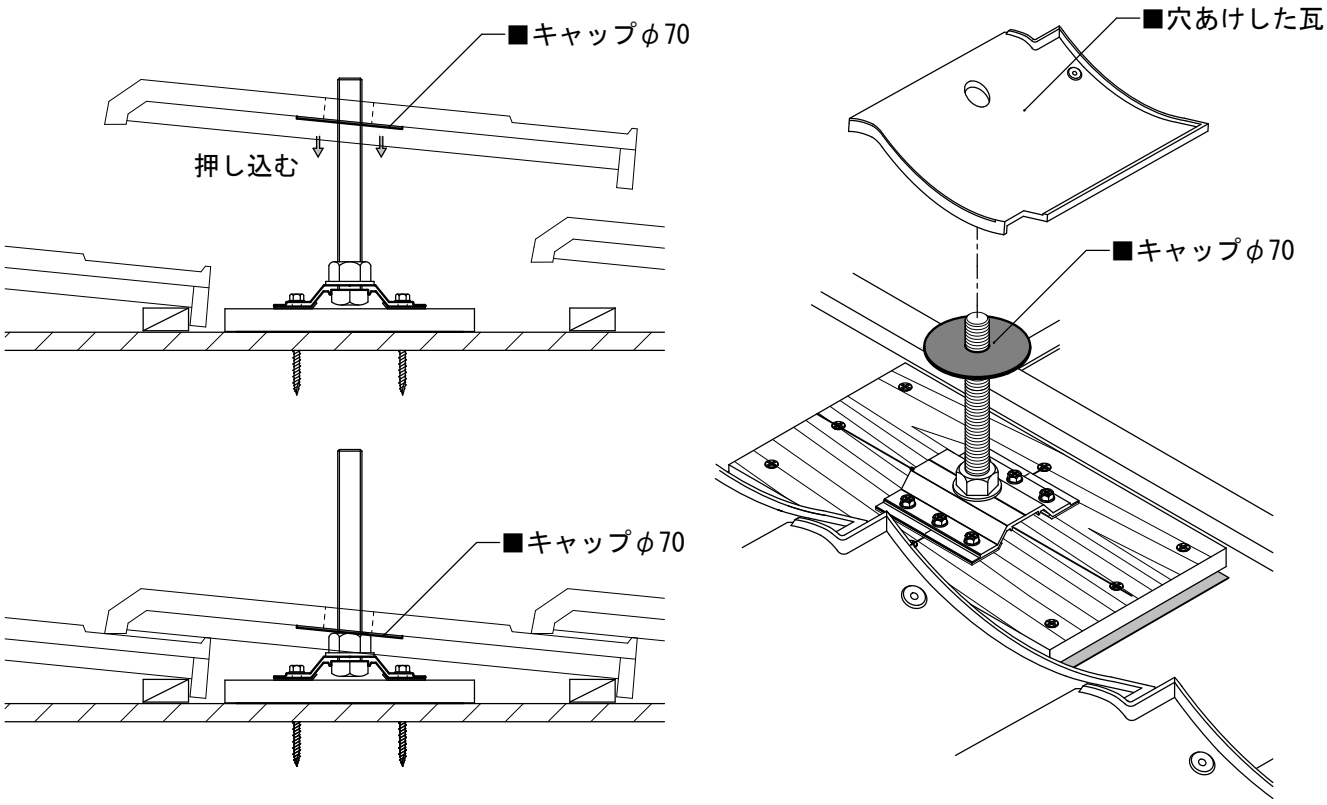
締めつけが不足すると緩みの原因となります。

７）瓦の葺き戻し

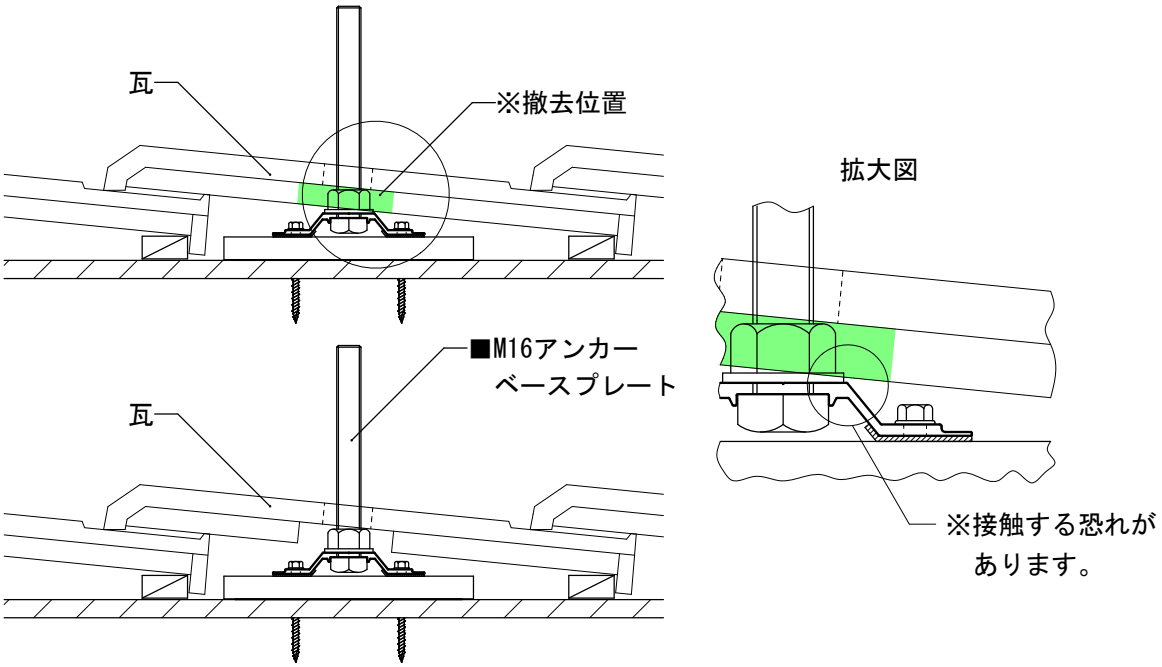
①M16ボルトにキャップφ70を10山程度入れます。



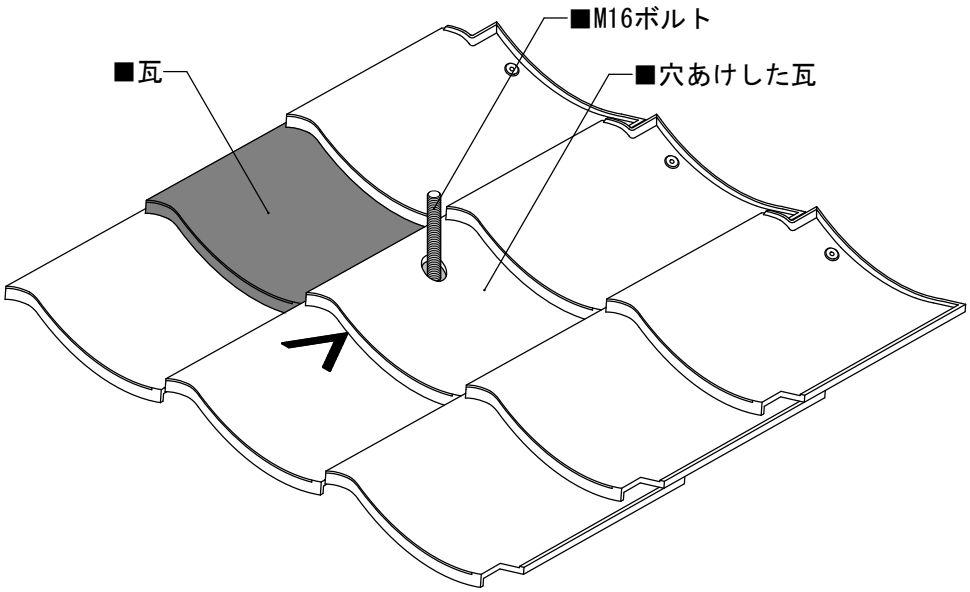
②穴あけした瓦でキャップφ70を押し込みながら葺きます。



③瓦の裏面とM16アンカーベースプレートが接触する場合は再度瓦を外し瓦用ハンマーとタガネ（または、ディスクグラインダ）で瓦を削って納めてください。



④周囲の瓦を葺きます。



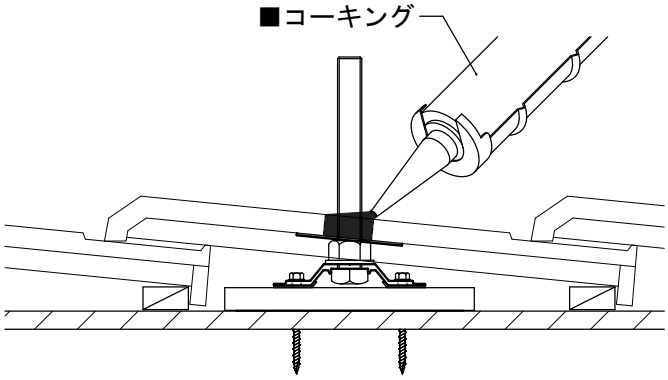
※瓦をもどす際には、最新の「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」の「補修施工」に従い施工を行ってください。

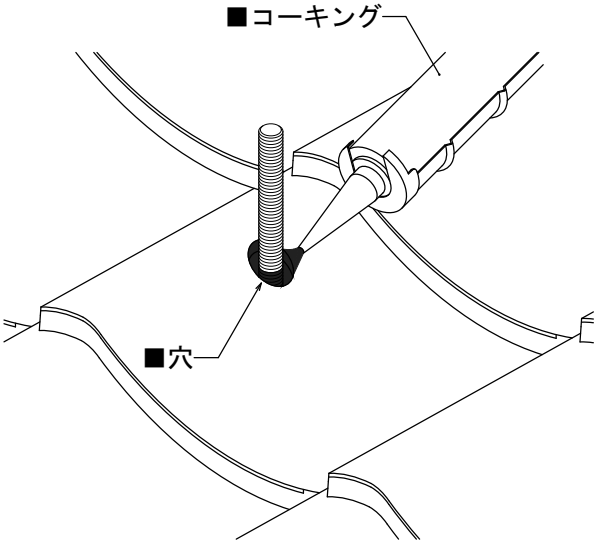
❗注　意

瓦が割れた場合は必ず新品と交換してください。

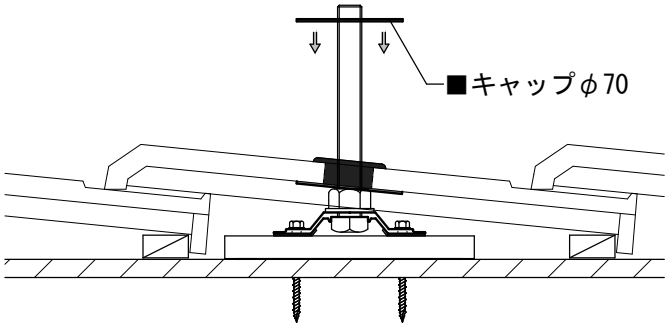
８）防水処理2

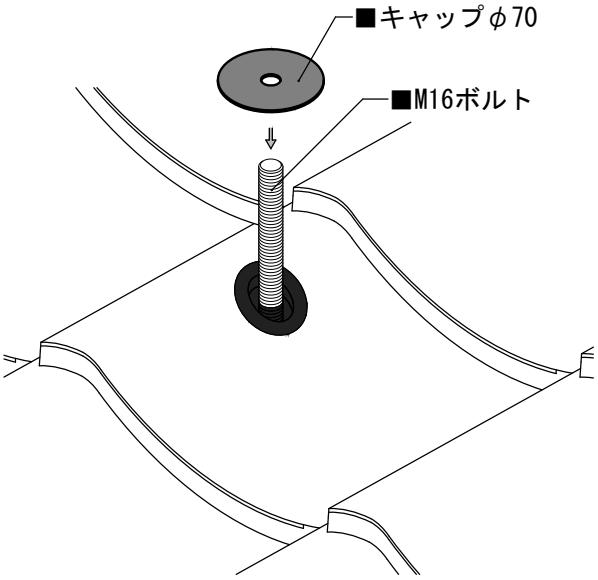
①瓦の穴とM16ボルトの隙間にコーキングを注入します。
注入後、隙間なくコーキングされていることを確認してください。



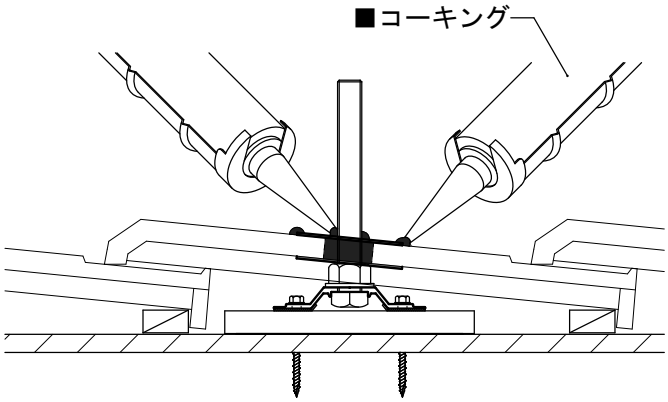


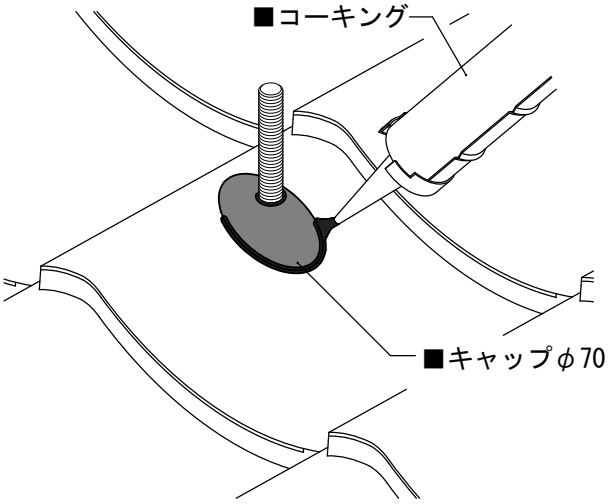
②M16ボルトにキャップφ70を取り付けます。
キャップφ70は瓦の形状に沿うように取り付けてください。





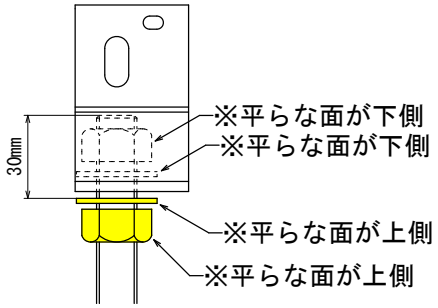
③キャップφ70の周りを清掃し、キャップφ70の外と内にコーキングを施します。

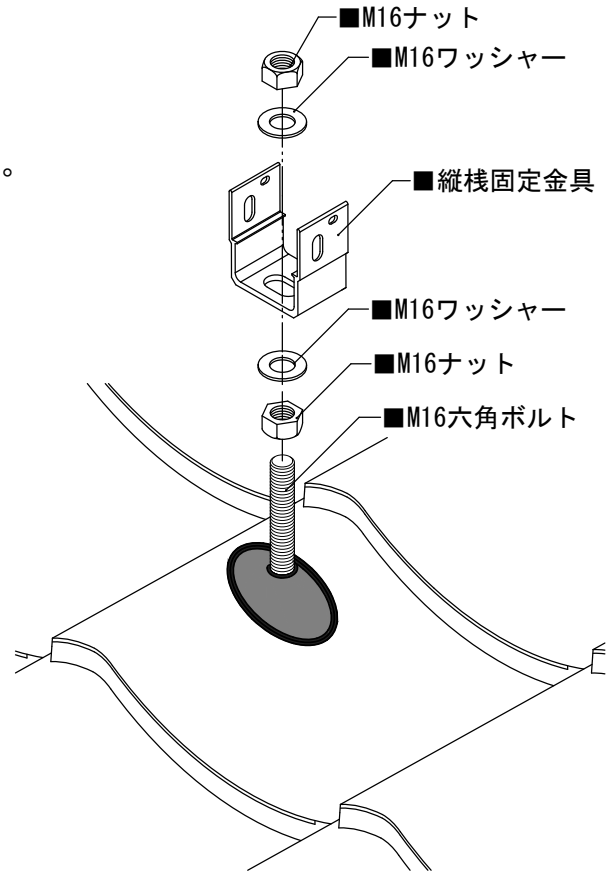




９）縦桟固定金具の取り付け

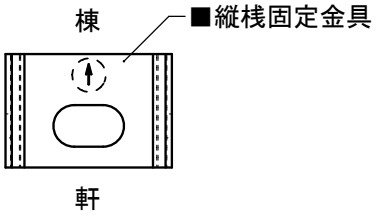
①M16ボルトにM16ナット、M16ワッシャー、縦桟固定金具、M16ワッシャー、M16ナットの順に入れます。



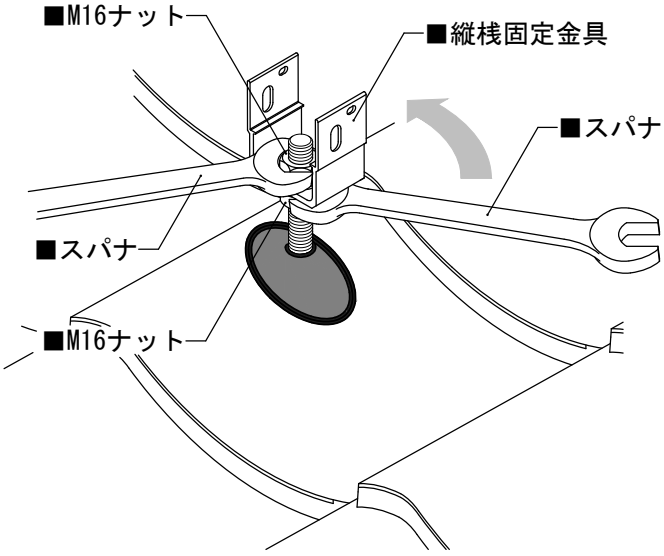


注　意

縦桟固定金具の向きに注意してください。
『↑』を棟側にしてください。



②縦桟の通りを調節し、M16ナットを締め付け、縦桟固定金具を固定します。
（スパナで仮固定し、トルクレンチで16N・mまで本締めをします。）



注　意

締め付ける際、縦桟固定金具が回転しないようにしてください。
上側のM16ナットをスパナ（またはトルクレンチ）で押さえながら、下側のM16ナットをスパナで締め付けます。

⇒以降、太陽電池モジュールの施工については『太陽電池モジュール据付工事説明書（施工マニュアル）』又は『流通調達架台据付工事説明書』又は『傾斜屋根置据付工事説明書』をご参照ください。